

雲北陵月報

No. 485

令和8年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



VUCA(ブーカ)時代を、 「領収書の生き方」で歩むために

中学教頭 上代 昭文

新年、あけましておめでとうございます。令和8年がスタートし、第3学期を迎えることができました。

12月の第2学期終業式で、校長先生から様々なお話がありました。その中で、イエロハットの創業者の言葉をもとにした、「請求書の生き方」と「領収書の生き方」という話を覚えていきます。

「これだけやっただから評価されて当然だ」「自分は損をしている」「このように見返りを求める生き方が、請求書の生き方です。」

一方で、「誰かの役に立てたか」「感謝される行動ができたか」と、自分に問い続ける生き方が、「領収書の生き方」です。校長先生は、「どちらの生き方を選ぶかで、人としての成長は大きく変わる」とお話をされました。

この話は、今の時代を生きる皆さんにとって、非常に大切な視点だと思えます。今、私達は「VUCA(ブーカ)時代」と呼ばれる時代を生きています。

VUCAとは、
V = Volatility (変動性)
U = Uncertainty (不確実性)
C = Complexity (複雑性)
A = Ambiguity (曖昧性)

の頭文字を取った言葉です。簡単に言えば、「世の中の変化が激しく、先が見えず、物事が複雑で、正解が一つではない時代」ということです。世界では戦争や地域紛争が続く、気候変動による災害も増えています。技術や社会の変化も速く、「これをしてあげば安心」という答えが見つかりにくい時代です。

このようなVUCA時代に大切なものは、

「自分は何をしてもらえるか」と考えるのではなく、「自分は今、何が出来るか」「周囲のためにどう行動できるか」を考えることです。まさにここで、「領収書の生き方」が生きてきます。

さて、冬休みが終わり、第3学期が始まりました。事故や大きなけがもなく、皆さんが元気に登校してくれたことを、大変嬉しく思います。

暦の上では小寒から大寒と、これから一年で最も寒さが厳しい時期に入ります。今回は、二つのことをお伝えします。

一つ目は、日々の健康管理についてです。感染症は落ち着きつつありますが、朝の体調確認、手洗い・消毒等、基本的な行動を続けてください。これは自分のためであると同時に、周囲を思いやる「領収書の行動」でもあります。

二つ目は、私の好きなABCDの規則です。

A 〓 当たり前のことを、
B 〓 馬鹿にせず、
C 〓 ちゃんとできる人が、
D 〓 できる人です。

具体的には、挨拶をしつかりする、時間を守る、整理整頓を行う、授業を大切にする姿勢、等です。これらは目立たない行動ですが、VUCA時代だからこそ、こうした「当たり前の積み重ね」が人としての土台になります。誰も見ていないところでも手を抜かず行動できる人は、結果として信頼され、必要とされる存在になります。

第3学期は、一年のまとめであり、次の学年、次の進路につながる大切な時期です。小さな差の積み重ねが、やがて大きな差となり、自分の夢や目標へとつながっていく

ます。

「101の法則」というのを聞いたことがありますか？ちよつとした努力を積み重ねると、やがて大きな力になるという法則です。今日を「101」だとしたとき、少しだけ頑張ると明日を「101」にするために、自分に必要なことはどんなことなんだろうって考えてみてください。毎日「101」を続けて40日後の長期休暇が終わる頃にならうってやるのかを考えてみましょう。「101」の40乗を実現した「149」の世界が自分の周りに広がっていることになりそうです。

その反対に、少しだけさぼった一日を「99」だとします。そんな毎日を通すと、長期休暇が終わる40日後には、「099」の40乗「067」の世界を見てしまうことになりそうです。

40日後、長期休暇の終わりに、自分が見たいのはどっちの世界ですか？15倍成長して大きくなった自分か、三分の二に縮んだ自分か。

同じ計算を一年間365日後で比べると、「101」の365乗は、約38。「99」の365乗は003です。一年間でその差は120倍に開くという計算になります。これは、標準状態(0℃・101325Pa)において、1molの液体の水が、気体に状態変化する場合(約124倍)以上の変化です！・・・。

最後に、2年生の皆さん。進路実現に向けた準備が本格的に始まります。不安を感じる人は当然です。しかし不安があるからこそ人は成長できます。目の前の課題を一つ一つ、愚直に乗り越えてください。私達教職員も、全力で支えています。

第3学期が、皆さんにとって、VUCA時代を生き抜く力を身につけ、領収書を積み重ねる学期になることを願っています。

卓球部

第53回全国高等学校卓球大会中国地区予選会
時 12月20〜22日
於 オークアリーナ(広島)

中国選抜準優勝！全国選抜出場決定！

【男子団体】

予選リーグ
本校 3-1-0 祇園北(広島)
本校 3-1-1 倉吉北(鳥取)
決勝リーグ
本校 3-1-0 金光学園(岡山)

本校 3-1-2 松徳学院(鳥根)

本校 3-1-1 倉敷工業(岡山)

本校 3-1-2 鳥取城北(鳥取)

本校 3-1-0 柳井商工(山口)

本校 0-1-3 呉青山(広島)

本校 0-1-3 関西(岡山)

準優勝

〇大会総評
予選リーグから決勝リーグまで、厳しい試合の連続であつたが、本校らしい粘り強さを発揮して、難局を乗り越えることができた。技術的な課題は多いが、日々の練習で克服し、全国選抜では2年ぶりの入賞を目指して頑張りたい。

第34回西日本高等学校選抜卓球大会

時 1月4・5日
於 カミアリーナ

【男子団体】優勝

〇団体メンバー 福田健人(25歳)、三好蒼空(22歳)、金丸 陽(22歳)、小林直喜(24歳)

〇大会総評

全国合宿でレギュラーを欠く中ではあつたが、チーム一丸となって全勝優勝することができた。決勝リーグでは強豪校と数多く試合をすることができ、今後に向けて良い経験を積むことができた。夏以降の練習で選手個々の力は付いてきていると感じている。今後とも試合が続くが、コンディションを整えて、良い成績が収められるように頑張りたい。(顧問 古瀬泰之)

令和7年度鳥根県児童生徒学芸顕彰式

時 12月26日
於 サンラポールむらくも

【合唱部】【吹奏楽部】

令和7年度鳥根県児童生徒学芸顕彰を受賞

標記の式が行われ、合唱部がNHK全国学校音楽コンクールで優良賞、日本合唱コンテスト全国大会で銅賞、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールで銅賞、全日本マーチングコンテスト全国大会で銀賞を受賞したことにより鳥根県児童生徒学芸顕彰を両部がそれぞれ受賞した。

式には、吹奏楽部副部長の大國朔也(36歳)が出席し、県教育長より学芸顕彰を授与された。

この賞に甘んじることなく、更に飛躍できるように変わらず精進していきたい。

男子ソフトテニス部

第51回中国地区高等学校選抜ソフトテニス大会

時 1月16日

於 ロースアリーナ(広島県福山市)

〈団体メンバ〉三上瑛大(25)、高木映瑠(24)、木村一心(13)、山下柊人(25)、河野穂希(23)、川原 真(24)、三島綾太(22)、富岡光輝(23)

各県1位リーグ 3位(2勝2敗)
本校 3-0 米子松蔭(鳥取)
本校 3-0 広島翔洋(広島)
本校 0-3 岡山理附(岡山)
本校 0-3 南陽工業(山口)
全国選抜代表決定戦
本校 0-2 岡山南(岡山)

○大会総評

年末、年明けと全国の上位校との練習試合を重ねた中国選抜大会であったが、2年連続の突破とはならなかった。この悔しさを忘れず、夏に向けて精進していきたい。保護者の方には遠方まで応援に来ていただき、有難うございました。(顧問 佐々木雄志)

女子ソフトテニス部

第51回中国地区高等学校選抜ソフトテニス大会

時 1月16日

於 ロースアリーナ(広島県福山市)

〈団体メンバ〉落合、森田、今田、水永、井上、牛尾、曾田、谷
各県1位リーグ 4位(1勝3敗)
本校 1-2 山陽学園(岡山)
本校 3-0 徳山商工(山口)
本校 0-3 広島翔洋(広島)
本校 1-2 米子松蔭(鳥取)
○大会総評

全国選抜大会初出場を目指し準備してきたが、目標には届かなかった。他のブロックとも練習試合を重ねてきたが、足りない部分があったと痛感する結果となった。春の戦いに向けてまた準備を始めようと思う。たくさんの方の応援有難うございました。(顧問 金森 快)

男子バスケットボール部

出雲地区高等学校バスケットボール新人大会

時 12月20・21日

於 出雲高校体育館

予選トーナメント

本校 20-10 出雲西(相手ノ乗機不戦勝)
本校 96-31 出雲工業
優勝 本校 101-32 平田
優勝(県新人戦ベスト4シード獲得)

○大会総評

2試合とも快勝し優勝することができた。来月の県新人戦に向けて守備とリバウンド、ルーズボールを強化し、魂のこもったバスケットボールが体現できるよう、これからもひたむきな心を大切に精進していきたい。最後になりましたが、当日は校長先生をはじめ、保護者、多くの方からご声援いただき、有難うございました。

島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月9日

於 松江工業高校他

2回戦 本校 129-33 安来
準々決勝 本校 89-58 三刀屋
準決勝 本校 65-48 松江北
決勝 本校 53-68 松江東
準優勝(中国高等学校バスケットボール新人大会出場権獲得)

○大会総評

本校は2回戦からの出場となった。昨年末の県選手権から下級生主体にチームを編成していたため、優勝を狙って今大会に臨んだ。準決勝まで高さを生かし、守備とリバウンドを軸に2年連続で決勝まで勝ち上がった。

決勝の松江東戦は、序盤から流れを捕まれ、前半17点リードを許す展開で折り返した。後半は徐々に流れを掴み、一進一退の試合を繰り広げたが、前半のビハインドが響き、15点差で惜敗した。

結果は準優勝となったが、来月、広島県で開催される中国新人大会への出場が決まった。今後、中国大会、6月の県総体に向けて更に成長したチームで戦えるよう、精進していきたい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、学校教職員の皆様、保護者の皆様に最終日まで応援していただきましたこと感謝申し上げます。(顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

出雲地区高等学校バスケットボール新人大会

時 12月20・21日

於 出雲高校体育館

1回戦

本校 92-43 平田

ブロック決勝 本校 61-78 大社
シード決定戦 本校 90-29 三刀屋
ベスト8(シード権獲得)

○大会総評

インフルエンザの流行により、思うように練習ができないまま大会当日となってしまった。大社との試合では、懸命に練習不足に足る体力低下が顕著に表れ、後半力尽きてしまった。この悔しさを忘れず、県新人戦に向け練習に励みたい。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方よりご声援いただき、誠に有難うございました。

島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月9日

於 松江南高校他

1回戦 本校 55-39 松江南
準々決勝 本校 53-39 出雲商
5位決定戦 本校 85-66 明誠
ベスト8

○大会総評

初戦の松江南戦からシュートが決まらず、苦しい試合となった。後半徐々にシュートが決まり、何とか勝利することができたが、次の出雲商業戦では前半こそリードする場面もあったが、後半リバウンドを支配され徐々に点差が開き、悔しい敗戦となった。県総体に向け個々に課題を持ち、この冬しっかりと練習に励みたい。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方よりご声援いただき、誠に有難うございました。(顧問 篠原勝利)

サッカー部

島根県高等学校サッカー新人大会

時 1月16・17日

於 出雲健康公園多目的運動場

1回戦 本校 1-0 松江農林
(前半0-0 後半1-0)
2回戦 本校 0-0 出雲工業
(前半0-0 後半0-0 PK4-5)
○大会総評

昨年の総体・選手権を経験したメンバーだったため、チームとして高い結束力を持って大会に臨むことができた。初戦は公式戦の緊張感から、普段は見られない連携ミスや消極的なプレーが目立ったが、なんとか一歩を奪い次戦へと駒を進めることができた。迎えた2回戦では、相手の勢いある攻撃に



ダンス同好会

出雲ダンスフェス in ゆめタウン Vol.3

時 1月11日

於 ゆめタウン出雲



本校は、1年生パートと2年生パートに分かれてダンスを披露した。学年ごとでの演目では、共通の振付を正確に踊ることを目標とし、これまでの練習で積み重ねてきた基礎や動きの完成度を意識して臨んだ。最後には、本校ダンス同好会で踊られてきた創作ダンスを全員で披露し、発表を締めくくった。(顧問 遠藤圭晃)

合唱部

第29回ウィンターコンサート

時 12月27日

於 ビッグハート出雲

テーマソングであるアンパンマンのマチを皮切りに、校歌や「うまコンクール」曲など12曲を歌い上げた。中でも今回ゲストとしてお招きしたヴァイオリニストの吉田美里さんのステージは圧巻で、奏でられる音楽によって会場の空気が一変するほどの素晴らしいものであった。また、合唱部とのコラボも実現し、音楽的にレベルの高いステージを繰り広げることができた。最後の曲を歌い終えた後も拍手が鳴りやまず、今回のコンサートのために作曲家の横山潤子先生に編曲してもらった「正解」をアンコール曲として歌って幕を閉じた。

3年生にとっては、3年間の集大成でもあり、ことのほかいずれも強いコンサートであったが、その役目を立派に果たし、無事に卒部を迎えた。4月からこのコンサートまで、多岐にわたって支え、応援していただいた保護者の皆様、先生方、地域の皆様から感謝申しあげます。本当に有難うございました。(顧問 布野浩志)

吹奏楽部

第19回ウィンターコンサート

時 12月20日

屋の部…14時開演
夜の部…18時30分開演
於 出雲市民会館大ホール

第19回目となる「ウィンターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなる。このコンサートに向け、生徒のみならず保護者会も一丸となり、演奏会の成功を目指して練習と準備を重ね本番に臨んだ。

1部の吹奏楽ステージは本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を中心に構成した。

2部では、高校音楽コンクールで上位入賞したフルート独奏と、アンサンブルコンテストで披露した木管5重奏とサクソフォン4重奏の演奏を行った。いずれも島根県を代表するに相応しい立派なステージであった。

3部は「ディズニー」をテーマにステイジドリルを行った。部員のみならず、保護者の皆様のご協力で、スペクタクルなショーとなった。

部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は1700名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

出雲北陵高等学校OB吹奏楽団 第3回定期演奏会

時 1月4日

開場13時20分 開演14時
於 出雲市民会館大ホール

令和4年4月に、本校吹奏楽部創設者である片寄哲夫先生がお亡くなりになり、先生からご指導をいただいた卒業生を中心に、令和5年に「片寄哲夫先生を偲ぶコンサート」を開催しました。その後、

片寄先生をお偲びしたいという思いから、令和6年よりOB会の活動として定期演奏会を行うこととなり、本年第3回目となるコンサートを開催しました。

平成3年に創設された吹奏楽部の卒業生は、本年3月卒業生が33期となり、600名を超える会員が在籍しています。本番出演したメンバーには、遠くは北海道や東京からも参加し、総勢88名の演奏者、スタッフを含め100名を超えるメンバーでの演奏会となりました。

当日は800名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏のうちに無事終了することができました。

多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも片寄先生からの教養を胸に、母校並びに本校吹奏楽部の活動の一助になるべく、活動していきたいと考えています。今後とも本校吹奏楽部OB会の活動にご理解ご支援のほどよろしくお願い致します。

出雲北陵高等学校吹奏楽部OB会
事務局長 竹内康貴

美術部

令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

三浦優那(26歳) 林野庁長官賞受賞!!

県内の緑化ポスターコンクールで優秀賞に選ばれた三浦優那の作品が、県代表として「令和8年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に出品されたところ、高校の部で準特選となり林野庁長官賞に選ばれた。

(顧問 石倉 正)



三浦の作品

創立者 水谷キヲ先生 命日追悼会

本校創立者水谷キヲ先生の命日である1月16日、生徒を代表して中学校新生生徒会長竹下和輝(22歳)、高校新生生徒会副会長大野珠伶(24歳)ら4名で大本寺を訪れ墓参した。新生生徒会として出雲北陵中学・高等学校の更なる発展に向け、改めて決意を強くした。

また、今回の墓参は第3代理事長水谷勲先生が逝去されて初めてとなる墓参でもあった。常に生徒のことを思い、学園の発展に大きく寄与された勲先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

乙案内

美術・CGデザインコース

第25回卒業制作展

時 2月7日(土) 9時~17時

場 所 出雲文化伝承館

緑結び交流館 出雲市浜町520

入場料…無料

多数のご来場をお待ちしています!



卒業制作展

第25回出雲北陵高等学校
卒業制作展
日時 2026.2/7(土)・8(日)
会場 出雲文化伝承館緑結び交流館
出雲市浜町520

音楽コース

本校音楽コースが左記のコンサートを開催致します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しください。

第33回卒業演奏会

時 2月14日(土)

場 所 ビッグハート出雲 白のホール

入場料…無料 ※整理券が必要です

中学校

卓球部

第55回後藤杯卓球選手権大会 (名古屋オープン)カデットの部

時 1月10・11日
於 スカイホール豊田

(男子シングルス)
5回戦敗退 岡本悠希(中2)、今福龍司(中2)
4回戦敗退 住田光亮(中2)、清水寛生(中2)
○大会総評
全国のレベルを実感できる大会であった。課題を一つ一つ克服し、更なる成長を期待したい。
(顧問 相場翔太)

女子バスケットボール部

第4回島根県中学校新人バスケットボール選手権大会

時 12月6・7日

1回戦 於 出雲だんだんととアリーナ

ベスト8 本校 35-47 HIGHTIME

○大会総評

上位大会出場を目指して臨んだが勝利を収めることができず敗戦した。緊張感のある試合の中でも、自信を持った自分達のバスケットを貫き通せるように練習や実戦を積んでいきたい。ご支援有難うございました。
(顧問 和田拓真)

第3回 校外講師特別講座

時 12月23日
於 中高棟ホール

2学期末保護者会に併せ、平和教育DVD朗読鑑賞会を実施した。戦後80年の今年、戦争の悲惨さや、平和の大切さを感じてもらうため、俳優の紺野美沙子様の朗読「星は見ている」を生徒・保護者・教員で鑑賞した。

昭和20年8月の広島、原爆投下により大切な家族を失い、その悲しみを切々と語られ、改めて平和のありがたさを知った。戦争のない世の中の実現に向け、生徒一人ひとりに何ができるのか考える有意義な時間となった。

作品と研究

中学校書初め作品より

中学校では毎年、一月の月上旬に書初めを実施しています。今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を漢字一字もしくは熟語で表してみました。初めての行書だった一年生も多かったようですが、全学年で真剣に書きました。力作の一部を紹介します。

作品①

金力

井上 混雅

「全力」

井上 混雅(中2)

僕は勉強が得意ではありません。テスト期間はもちろんですが、普段からも全力で勉強し、少しでも点を取りたいからです。この言葉を選びました。部活動でバスケットボールをしているので、コート内では全力で走ったり、シュートのチャンスが来たときには集中して打ったりしないといけません。そのために人よりもたくさん練習をしていきたいと思っています。

もう少し先ですが、高校になってもバスケットボールと勉強の両立ができるように全力を出したいです。

作品②

学

咲来

「学」

徳川 咲来(中2)

私がこの漢字を選んだ理由は学びのある一年にしたいと思ったからです。今年には中学生になり、環境の変化に対応していくことに精一杯でした。だから様々なことにあまり挑戦できなくて学ぶことが少なかったと思います。今年には自分の将来に向かっていろいろな経験をしたい、たくさんの学びのある一年にしたいと思っています。

作品③

尊敬

下条 莉子

「尊敬」

下条 莉子(中2)

今年、人に尊敬され、人を尊敬できるような人になりたいと考えています。人に尊敬されるには、人としての常識を身につけて、誰にだって優しく、時には注意できるような人にならないといけないと思います。そんな自分になれるように一生懸命頑張りたいです。そして、人を尊敬し、よりその人に近づけるにはどうすればよいかを考え、さらに高い所へと目指し、目標に達することが私の今年の抱負です。

作品④

不屈

隈元 慶真

「不屈」

隈元 慶真(中2)

今年の大切にした言葉は不屈にした理由は、どんな困難があっても乗り越えて成長し続けるという思いからです。特に部活動で、なかなか勝てない、あるいは強くなれないという状況でも、諦めないという気持ちを大切にしていきたいと思っています。失敗したときなどでも自分の力できることなく、どんなことでも自分の力で乗り越えていける一年にしたいと考えています。

作品⑤

挑戦

土江 心

「挑戦」

土江 心(中3)

今年、高校生活がスタートします。環境が変わり、今までと違う生活になります。その中で自分はいろいろなことに挑戦していきたいと思い、この言葉に決めました。勉強面では、得意な教科はそのまま伸ばしていきたい、苦手な教科は少しでも上げていけるように勉強していきます。部活動では先輩に負けたくないよう練習をし、上に向かって挑戦したいと思っています。

作品⑥

希望

汐来

「希望」

狩野 汐来(中3)

私がこの字を選んだ理由は、今年が自分の人生の新しい幕開けの年になると思ったからです。

中学校を卒業すると九年間の義務教育が終わります。高校という新しい環境に希望を持って生活したいと思っています。まず一月に高校入試を控えているので、努力はもちろん希望を持って受験勉強に力を入れます。これからの生活がより良いものになるように頑張りたいです。

今月の
1枚

「うまい!!」

春木かおり(2年)

第58回島根県高校美術展選抜作品

